



(無断転載を禁ず)

秋田ふるさと検定試験 問題用紙

(午後1時30分開始 制限時間100分)

第17回 1級

注意事項

1. 答案用紙の記入にあたっては、HB又はBの黒鉛筆、シャープペンシルを使用すること。
2. 解答はすべて答案用紙に記入し、提出すること。
3. 問題に解答を「漢字で書きなさい」と記載している場合は、ひらがな、カタカナ表記は不正解とします。

2025年9月7日

秋田県商工会議所連合会

【歴史】

（問題 1）

大仙市協和荒川から発掘された遺跡は旧石器時代の末期から縄文時代の中期までの集落遺跡である。旧石器時代であることを物語る出土品の特色として ①土器の利用がない。②磨製石器が使用されていない。そして③として、ロシアのバイカル湖周辺を起源とする特色ある道具(石器)がある。

この道具の名称を漢字で書きなさい。

（問題 2）

この一族の勢力範囲は男鹿、南秋田から雄勝までに及ぶとされている。この一族の代表的人物は源頼義の要請で岩手俘囚長を厨川柵で滅ぼし、陸奥、出羽を支配する実力者になった。しかし、この一族の 3 人の子の中で相続争いが起きて一族は滅亡した。この争いの勝利者は実父の姓を名乗り出羽国を離れて、本拠地を移し、東北の大半を支配下に置いた。

この人物が居住した地名を漢字で書きなさい。

（問題 3）

この人物は佐竹氏の秋田入部まで秋田地域を支配下においた戦国大名である。父から 12 才で檜山で家を継ぎ、湊合戦に勝利した後、本拠を湊城に移し、秋田、豊島、比内を支配し出羽最大の大名となった。

この人物の名を漢字で書きなさい

（問題 4）

明治 4（1871）年 7 月明治政府による廃藩置県によって秋田県が誕生した。この時、秋田県は旧秋田藩地域のみならず、前年 2 月に秋田藩から分離した【A】県、そのほか亀田県、【B】県、矢島県などがまとまって新県を作った。
※当時、仁賀保領は山形県に鹿角郡は江刺県に属していた。

【A】、【B】に入る地名を書きなさい

（問題 5）

八郎潟を干拓する計画は秋田県の初代権令の【A】によるものであった。以後しばしば立てられては立ち消えになっていた。昭和 27（1952）年、農林省が秋田市に八郎潟干拓調査事務所を設置してから具体化した。昭和 30（1955）年知事に当選した【B】は、この事業を積極的に推し進め昭和 39（1964）年排水により陸地化した大潟村が誕生した。

【A】、【B】に入る人名を書きなさい

(問題 6)

秋田では近代に外国人が秋田の発展に寄与したことを忘れてはならない。産業界でこれらの人々の貢献にかかわる建物と、教育分野における貢献にかかわる建物を漢字で書きなさい

(問題 7)

秋田藩初期の家臣達の戦場での活躍が、幕府の認めるところとなり、関ヶ原合戦への不参加の汚名は払拭され、大名として佐竹家は領内外にわたり安定した政権運営を展開することができたと評価できる。家臣の中で幕府からその武力を認められた家臣名と、その人物が活躍した合戦名を漢字でかきなさい。

(問題 8)

次の記述の中で誤っている箇所を 2 箇所見つけその誤りの語句と正しい語句の両方を漢字で書きなさい。

県内に藩政期、それぞれの領地を支配した大名家の菩提寺が大切に守られ残されている。例えば本荘六郷氏の菩提寺は蚶満寺で、亀田岩城氏の菩提寺は妙慶寺である。

(問題 9)

次の記述の中で誤っている箇所を 2 箇所見つけその誤りの語句と正しい語句の両方を漢字で書きなさい。

元和 9 年、生駒氏の改易に伴い由利郡には仁賀保氏 1 万石、六郷氏 2 万石、岩城氏 2 万石、打越氏 3,000 石と 4 人の領主が入部した。その折、仁賀保領の中に配分の端数 158 石余りが生じたのでこれが庄内領になった。

(問題 10)

縄文式土器の文様到大木式土器と円筒式土器の二つの系統の土器が使用されていたことが県内の遺跡からの出土状況から分かった。さらに、その分布に現秋田市と田沢湖を結ぶラインで分布に違いがあることがわかった。そこで、「円筒式」、「大木式」、「当時の交易圏」、以上三つの語句を使って縄文期の秋田について発掘結果から分かることを 100～150 字以内で説明しなさい。

【観光】

（問題 1）

女の子や子どもたちの可憐な姿を木版画で描きその独特の作風から没後も根強い人気があるにかほ市出身の木版画家。象潟郷土資料館には、その画家の作品・約 2,700 点が収蔵されている。その画家の名前を書きなさい。

（問題 2）

令和 6(2024)年 10 月に十和田湖の西湖畔・和井内地区に誕生した「道の駅・十和田湖」は、秋田県内で何番目の道の駅となるのか、その数字を書きなさい。

（問題 3）

酒と海を楽しむ町で最高に遊べる基地作りを一緒に進めようと、クラウドファンディングで資金調達。空き事務所をリノベーションして、「泊まれる大人の秘密基地」をコンセプトにした 1 日 1 組限定の貸切宿を平成 30(2018)年に八森町に開設。洗練されたデザインで遊び心たっぷりのインテリアが話題を集め、さらには令和 2(2020)年には貸切のフィンランドサウナ施設を併設し、評価はさらに上昇。「蔵人」と「友達」を語源とするこの宿の名称を書きなさい。

（問題 4）

大館の自然・産業・歴史・民俗・美術工芸の分野を紹介する品々を展示する大館郷土博物館では、市内にある 6 つの国指定天然記念物についても紹介している。秋田犬、比内鶏、ザリガニ生息地、長走風穴高山植物群落の他、2 つの国指定天然記念物の名称を書きなさい。

（問題 5）

次の本荘公園の説明で【A】・【B】に当てはまる名称を書きなさい。

石垣を使わず土塁と壕による城として本城豊前守満茂が築いた城は、戊辰戦争で焼失、大正時代に史跡公園として整備、平成以降に再整備されてきた。桜やつつじの名所でもあるが、城は往時から【A】城や【B】城などとも呼ばれ、その名を記した町名や施設が多くあり、市民に親しまれてきた公園である。

(問題 6)

院内銀山異人館の説明で【A】・【B】に当てはまる語句を書きなさい。

最盛期には産出量日本一を誇った院内銀山の歴史を振り返る史料館。建物は【A】人鉱山技術者の住居をイメージしてれんが造り風の外観になっており、JR 奥羽本線院内駅の駅舎を兼ねている。館内では院内銀山で使われた採鉱道具などの資料や銀山町の模型などが展示されるほか、国指定史跡の【B】洞窟から出土した土器や縄文時代の生活ぶりを等身大の人形で再現したジオラマも展示している。

(問題 7)

男鹿の新たな見どころとして注目を浴びている「紫陽花寺」。副住職が 20 年を超える歳月を費やし手塩にかけて育てたアジサイが境内を埋め尽くす景観は圧巻。たった 1 株から 1500 株以上に株分けしたアジサイは独自の育成方法によって 1 株につく花の数が多く、満開の頃には一面が青色に染まる。青一色にこだわり、まさに絨毯のように一面に咲き誇るアジサイの奥には近くの漁港と男鹿の海が広がり、ここでしか見れない風景を作り出している。その寺の名称と漁港の名称を書きなさい。

(問題 8)

次の三種町で開催される「サンドクラフト in みたね」の記述で誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

環境省認定日本の海水浴場 100 選に選定される宮沢海水浴場で行われる砂像制作展示イベント。国内外の砂像彫刻家が手掛ける大型砂像から地域住民の手による個性あふれる中型や小型などの砂像が出展される。

(問題 9)

本年 5 月 3 日～5 日に秋田県内で開催された熱気球に関するイベントの説明で、誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

全国から集まった熱気球が春の大空をカラフルに彩り浮かび上がる秋田スカイフェスタ。県内の熱気球の愛好家の団体が 30 年程前から毎年大仙市で開いている大会で、今年はおよそ 40 チームが参加した。朝もやが立ち込めた山々や眼下に広がる田園風景など 360 度の雄大なパノラマを楽しんでいた。

(問題 10)

八幡平アスピーテラインについて、次の 3つのキーワードを必ず使用して、
120 字～150 字の文章で説明しなさい。

「県道番号」 「春の開通直後」 「鏡沼」

【祭り・行事】

（問題 1）

次の記述について【A】・【B】・【C】に入る最も適切な語句を書きなさい。

猿倉人芝居は、創始者である池田与八の出生地であるところから、初めは【A】と呼ばれていた。後に猿倉の地から出た弟子の【B】によって全国的に普及したこともありその名が知られるようになった。この人形芝居の特色は【C】と呼ばれる素早い人形のカシラ（頭）の交換と、裾突っ込み、指人形ハサミ式、一人両手使いで、素早いカシラの交換でわかせる「鬼神のお松」や、アクロバットの的な手さばきの「鑑鉄和尚の傘踊り」などは人気が高い。

（問題 2）

次の記述について【A】・【B】・【C】に当てはまる適切な語句を書きなさい。

葛黒集落では小正月行事としておこなわれる「火まつりかまくら」がある。この行事の起源は江戸時代後期に始まったと伝えられるもので、近くの山から伐りだした【A】の先端には竹を取り付け、この木の枝には【B】、豆殻、山卯木（うつぎ）、杉の枝、藤蔓（ふじつる）などを取りつけ祭り場の中央に立てる。これを【C】として、夜にはこれを燃やし悪霊を祓うというかまくら行事である。

（問題 3）

南鹿角（鹿角市）の総鎮守として古くから信仰を集めてきた幸稻荷神社の祭礼で、豪華な宮形屋台で奏でられるお囃子の名称を何というか。

（問題 4）

八郎潟湖畔の社でおこなわれている神事で、年間約 20 以上の祭事があり、これの全てを担う役目の神人（じにん）は氏子から選ばれた特別な人である。特に七月七日におこなわれる例祭では、天王地区からは牛乗り、船越地区からは蜘蛛舞という特殊神事がみられるものである。この祭り行事の正式名称（国指定重要無形民俗文化財名称）を答えなさい。

（問題 5）

秋田県内では「湯沢七夕絵どうろうまつり」をはじめ、ねぶり流し系の七夕行事が多くみられる。湯沢（湯沢市）以外の類似する七夕行事を地名を付けて3つ書きなさい。

（問題 6）

秋田の冬を象徴する小正月行事のひとつで、特に昭和 11（1936）年 2 月に来秋したドイツの建築家ブルーノ・タウトは自著の『日本美の再発見』で、「ここにも美しい日本がある」と絶賛していた祭り行事がある。タウトは「なかにしつらえた雪龕（せつがん・註、ここでは神棚のことを指す）には水神様を祀り（この辺はいったいに水に乏しいのだ）、蠟燭をともし、お供物がそなえてある」と説明していた。この祭り行事の名称を何というか。

（問題 7）

秋田県内では小正月の来訪神としてなまはげ・アマノハギ・やまはげ、など多数みられ、それぞれ独特の仮面を付けておこなわれている民俗行事である。能代のナゴミハギも普通とは異なる仮面を付けておこなうものだが、この面とはどんな面のことをいうか書きなさい。

（問題 8）

次は、大仙市神宮寺の八幡神社の祭礼でおこなわれる行事の説明であるが、この記述で誤っている箇所をみつけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

祭礼にあたり、神社境内や氏子区域の境界などに立てる大幟を、幟竿ごと一人で背負い、これを翳（かざ）して氏子町内を巡る行事を旗担ぎと呼んでいる。竿や幟も重いが、特にバランスをとるために背にした幟竿のもとには石を詰めた込（かます）も一緒に背負うこととなり、総重量は約 90 kg ともなるという。八幡神社では御神輿の巡幸に先立って幟背負いが先払いをして巡るのだとされたが、本来は幟を依り代（よりしろ）として神様を招くものだと解釈される。

(問題 9)

次の祭り行事の説明で、誤っている記述を見つけ、その誤りの記述と正しい記述の両方を書きなさい。

鳥海山北麓に広く分布する本海流獅子舞番楽は、寛永年中の頃、京都醍醐寺三宝院末に属していた修験者であった慈覚大師円仁が伝えたという湯立神楽である。特に獅子舞番楽というのは、番楽諸曲の最初に必ず獅子舞をおこなうことによるもので、獅子舞に対する特別な信仰をもたらしているためといわれる。

(問題 10)

にかほ市象潟町関の諏訪神社でおこなわれる祭り行事について、次の3つのキーワードを必ず使用して、150～200字以内の文章で説明しなさい。

「オベタテ（御幣立て）」・「おためし場」・「風祭り」

【自然】

（問題 1）

成層火山の大カルデラに噴出した中央火口丘の向岳（標高 1454m）を中心に、前岳や一ノ腰などのカルデラを取り囲む外輪山やヒバクラ岳や立ヶ森などがある。山腹にはブナ林が広がり、標高約 1100m 以上にはオオシラビソ林が発達している。初夏から多種の高山植物が咲き誇り、「花の百名山」として親しまれている。この山の名称を漢字で書きなさい。

（問題 2）

秋田、青森、岩手の県境にまたがる中岳に源を発し、総延長 136 km の一級河川である。かつて、この川の流域には鉱山が多く、尾去沢、小坂、阿仁などの鉱山から出る鉱石は舟運で運ばれた。また、流域は優れた杉材の産地でもあり、丸太を筏にして流す筏流しは昭和 39（1964）年まで続いた。この川の名称を漢字で書きなさい。

（問題 3）

カルデラ湖で、面積は 61.1 km² である。明治 41（1908）年に、大町桂月が訪れて雑誌「太陽」に紹介したのがきっかけで全国に知られるようになった。和井内貞行が養殖に成功したヒメマスが生息している。この湖の名称を漢字で書きなさい。

（問題 4）

象潟に関する記述について、【A】・【B】に当てはまる最も適当な語句を書きなさい。

松尾芭蕉が訪れ、「象潟や雨に西施がねぶの花」と詠んだ象潟は、かつて宮城県の松島と並ぶ名勝であった。海の中に松を抱いた小島が点在する姿は、およそ 2500 年前に起きた鳥海山の【A】によって運ばれた岩や土砂が基になってつくられた。文化元（1804）年に起きた【B】によって象潟は約 2m も隆起し、潟は干上がって陸になった。

（問題 5）

八峰町のチゴキ崎に関する記述について、【A】・【B】に当てはまる最も適切な語句を書きなさい。

波の浸食によってできた崖と平らな海底が隆起して形成された階段状の地形である海成段丘が広がっており、段丘面から日本海を眺めることができる。岬の灯台近くでは、上昇してきた【A】が水とふれて海底火山が大爆発を起こした際に噴出、水面の上に広がった【B】が積もってできた岩石が見られる。【B】層が何枚も重なっており、かつて海底火山が何度も大爆発を起こしていたことを示している。

（問題 6）

大館市の長走風穴高山植物群落は、国見山（標高 453.9m）の西斜面、標高約 170m～240mの所にある。岩石が崩壊堆積してできた空間が山の上と下につながっており、冷風が流通している。夏季には風穴から吹き出す冷風により、吹き出し口では地温が 10℃前後まで下がっている。風穴の近くには秋田県内では標高 1000m前後の亜高山帯に分布する高地性、貴重種が生育している。風穴の近くに生育している高地性、貴重種の植物の和名（名前）を二つカタカナで答えなさい。

（問題 7）

秋田県内に生息している野生動物で、特別天然記念物と国の天然記念物に指定されている哺乳（ほにゅう）類の和名（名前）を一つずつカタカナで答えなさい。（秋田犬を除く）

（問題 8）

次の記述の中で誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

秋田県内には多くの湿原があり、それぞれに特色がある。JR 刺巻駅からほど近く、ハンノキが残存する約 3 ha の刺巻湿原には、サトイモ科の植物であるミズバショウとコアニチドリが群生している。

(問題 9)

次の記述の中で誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

川原毛地獄は、高松川上流、泥湯温泉から約 2 km、標高 700mに位置する。江戸時代初期からは秋田藩の許可の下に院内石を採掘していた。全山、白い山肌と奇岩・怪岩に覆われ、硫気や水蒸気が噴出、草木の生えない光景となっている。

(問題 10)

男鹿市の鵜ノ崎海岸について、次の 3 つのキーワードを必ず使用し、150 字以上 200 字程度の文章で説明しなさい。

「頁岩」 「小豆岩と呼ばれる球状の岩」 「鯨の化石」

【生活文化】

（問題 1）

湯沢市三関で栽培され、県内外へ出荷されているブランド野菜の名称を書きなさい。

（問題 2）

「三湖伝説」に登場する田沢湖の主(ぬし)の名称を書きなさい。

（問題 3）

落雁の一種で、小豆粉、砂糖、徳島原産の和三盆などを水で練り固め、押し型にいれて乾かした打ち菓子の名前を書きなさい。

（問題 4）

「しょつつる鍋」の記述について、【A】・【B】に当てはまる適切な語句を書きなさい。

調味料のしょつつるは、小魚などを発酵させて作る【A】で、主に郷土料理のしょつつる鍋に使用される。しょつつる鍋は土鍋に代わりホタテ貝の貝殻を使用した料理を【B】と呼んでいる。

（問題 5）

秋田民謡「秋田おばこ」について、【A】・【B】に当てはまる適切な語句を書きなさい。

民謡「秋田おばこ」は素朴な中に艶美と哀愁をたたえた曲である。【A】地方が発祥地で、民謡歌手の【B】によってレコードや全国巡業で全国へ広まった。

（問題 6）

県南地方は麺の種類が豊富なことで知られている。その中から土地の名前を冠した（付けた）麺の名前を2つ書きなさい。

（問題 7）

「美酒王国」秋田県は日本酒以外に地ワインの生産・販売に取り組んでいる。主なワイン名を2つ書きなさい。

(問題 8)

次の伝統工芸品「銀線細工」の記述の中から誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

「銀線細工」は藩政時代に秋田領内で産出する金銀などを使って、かんざしなどの細工物が発達したのが始まりで、その技術は京都の職人から伝わったとされる。

(問題 9)

次の舞踏家・石井漠の記述の中から誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

三種町生まれの舞踏家・石井漠は上京して大正 4 年東京オペラ座を結成し、新舞踏運動を展開した。全日本芸術舞踏協会初代会長をつとめ、代表作に「人間仏様」がある。

(問題 10)

「樺細工」について、次の 3 つのキーワードを必ず使用し、120 字程度の文章で説明しなさい。

「伝統的工芸品」 「下級武士」 「製作方法」

【産業】

（問題 1）

国道 46 号線の岩手・秋田の県境に跨る延長 2544m の道路トンネルの名称を漢字で書きなさい。

（問題 2）

京浜中央卸売市場において、出荷額、販売額、販売単価の 3 部門で全国 1 位となる「三冠王」を 3 年連続（令和元～3 年）で獲得した秋田県産の林産物を書きなさい。

（問題 3）

昭和 49（1974）年に秋田県で最も早く運転を開始した、鹿角市にある地熱発電所を漢字で書きなさい。

（問題 4）

次の記述について、【A】・【B】に当てはまる港を漢字で書きなさい。

新日本海フェリー(株)は秋田港に秋田支店を置き、秋田港と苫小牧東港【A】、【B】を結ぶ長距離定期フェリーを運航している。

（問題 5）

次の記述について、【A】・【B】に当てはまる語句を書きなさい。

令和 2（2020）年度概算値で、秋田県の食料自給率は、【A】ベースで全国 2 位、【B】ベースで全国 9 位となっている。

（問題 6）

令和 4（2022）年 7 月 1 日現在、秋田県で高齢化率が高い上位 2 つの市町村名を漢字で書きなさい。

（問題 7）

令和 5（2023）年 2 月現在、大館能代空港で定期就航しているのは東京便のみであるが、過去に定期就航していた便を漢字で 2 つ書きなさい。

（問題 8）

秋田県の洋上風力発電に関する記述の中から誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

令和 5（2023）年 1 月現在、秋田県で洋上風力発電の商業運転を行っているのは、秋田港と船川港である。

（問題 9）

秋田県の畜産に関する記述の中から誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

令和 2（2020）年の秋田県における畜種別の畜産産出額は、豚が最も多く、次いで乳牛、肉用牛の順となっている。

（問題 10）

秋田県の水稲について、次の 3 つのキーワードを必ず使用して、120～150 字以内の文章で説明しなさい。

「依存度」 「50%以上」 「複合化の推進」